

現代の椅子デザインには
軽やかなフォルムが必須

Inga Sempé

インガ・センペ

1993年ENSCI(パリ・デザイン大学)卒。ヴィラ・メディスにて研究後、2000年パリにオフィスを開設。カッペリーニやエドラとのコラボレーションが話題に。現在は、リーン・ロゼ、ムスターシュ、ドメスティックなどのデザインを手がけている。



インガ・センペがオフィスで使用しているのは、自身のパートナーであるロナン・ブルレックと弟のエルワンによるマジスの「スティールウッド・チェア」。スティールと木材のつなぎ目をわざと表出させた、インダストリアルかつモダンな雰囲気の一脚だ。オフィスにも家庭にも合うデザインのこの椅子を、彼女は「インテリジェントなデザイン」と評して、スタッフ用だけでなく来客用としても使用している。

「座り心地がいいのはもちろん、見た感じが軽いこと、スペースをとらないことが椅子のデザインには大切」とのこと。彼女自身はスウェーデンのヤシネス社のために「エスタレン」をデザインした。

「軽さ、繊細さを木材だけで表現したいと思ったの。背もたれと後ろの脚部のこのカーブを木材で量産できる技術を持っているメーカーはフランスには存在しません」

そんな彼女が素晴らしいと思っている椅子をもう一脚。ジオ・ボンティによるカッシーナの椅子「スーパーレジェーラ」だ。「きわめて軽くて丈夫で美しい。理想の椅子よ」

スウェーデンの木工技術で
繊細なディテールを実現

Österlen Gärsnäs

by Inga Sempé

スウェーデンの1893年創業の老舗メーカー、ヤシネスのためにセンペがデザインした「エスタレン」。スウェーデン国樹でもあるトネリコの木を使い、の背面に特徴がある。ナチュラル仕上げ、ラッカー仕上げの3バリエーションあり、座面はベニア。http://garstec.se



異素材をハイブリッドした大胆なキャラクター

Steelwood Chair Magis

by Ronan & Erwan Bouroullec

2007年発表。ブルレック兄弟のデザインによるスティールにビーチ材を組み合わせたアーム・チェア。異素材を組み合わせた美しいデザインは、あらゆる空間に適応する汎用性の高さを併せ持つ。'08年ケルン国際家具見本市Best Detail賞、'11年コンパソンドール賞を受賞。「スティールウッド・チェア」5万8,000円〜/マジスジャパン

